この記事がすごい! 毎日新聞今週のこだわり4本



2023年9月17日号

編集/毎日新聞社カスタマーリレーション本部

"銭湯を消さない"「銭湯活動家」になった若者の思い

17日(日)=1、3面



銭湯に懐かしい思い出 をお持ちの方は多いので はないでしょうか。大き な湯船と「カコーン」と おけが響く音、湯船の中 でのびのびと体を伸ばす 心地よさーー。でも、そ んな魅力がある銭湯は今、 なくなりつつあります。

「消えゆく銭湯を守り たい」。そう決心し、銭 湯業界に飛び込んだ若者

がいます。京都市を拠点 に廃業寸前の銭湯を継業、 復活させている「ゆとな み社」代表を務める湊三 次郎さん(33)=写真。

アパレル会社に就職し たのですが、「やめてお いたほうがいい」という 周囲の忠告を振り切って 京都の老舗銭湯の継業に 挑戦しました。しかし、 待っていたのは水漏れ、

業務に支障が出るほどの クレーム客への対応と いった困難ばかり。心身 ともに疲れ、1年を節目 にやめるつもりだったの ですが、あることをきっ かけに事態は好転。若者 を呼び込む工夫も成功し ました。

「死ぬまで銭湯に入り たい」と願う湊さんの行 動に迫ります。

熱狂生むサーモン陸上養殖 19日(火)=1、3面

回転ずしで「よく食 べるネタ」として断ト ツのサーモン。世界的 にも需要が高まる中、 陸上に「プラント」と も言える大きな施設を 建設し、サーモンを生 産する動きが日本各地 で相次いでいます。事 業に乗り出すのは金融 や経営の世界に身を置 いてきたビジネスマン たち。津市や静岡県小 山町では外資企業が大 規模な陸上養殖場を建 設中です。彼らの狙い は何なのか、詳しくリ ポートします。



サーモン陸上養殖場の建設状況を 説明するソウルオブジャパンの久 原文規さん=津市森町で2023年 7月3日、柳楽未来撮影

「国葬ルールどうなった?」

国論を二分した安倍晋 三元首相の国葬から9月 27日で1年。岸田文雄首 相は「国葬の検証とルー ル化を検討する」と約束 し、有識者たちから意見

をヒアリングしましたが、

ルール化は見送られたま

22日(金)=夕刊2面 まです。ヒアリングに協 力した東京工業大の西田 亮介准教授(社会学)と、 国葬を批判してきた名古 屋学院大の飯島滋明教授 (憲法学) に話を聞きま した。

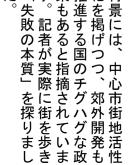


日本武道館で行われた安倍晋三 元首相の国葬=2022年9月27 日(代表撮影)

ら必言関とばラ毎を集にに辞化やとのな葉が。見葉係校茶イ日参者、す書し新言で経を聞 で経を聞お ま聞葉は験使い子 がった 載変時あ て 校 る化代るいと

カリ 0

边稿





コンパクトシティーの

失敗

5

コンパクトシティー構想の中核とし て期待されながらも経営破綻した駅 前ビル「アウガ」=青森市で202 3年8月11日、宮城裕也撮影

築い待しるシに くことに て地 テ 未 に 業 に 本 流 業 施 まさだれ とにて約都一さ施が明き30市」せ設 で確ま年の構るや きなんに切ってまる。 わり い功 せ例かり「弊んをし期とす

> た「す策推化背。失。も進を景 日 (月) ||1

18

の催の回ン28る あし"ト日こ 言しが人 のお はあし るま厚広 記葉 変も Q R方すい辞かけ。" 茄 そ 者 も辞わ多 かは